

# 「ひきこもり」の概要について

令和元年10月31日  
健康福祉部社会福祉課

# ひきこもりの定義

---

## 「ひきこもり」とは…

「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」のこと。

単一の疾患や障害の概念ではなく、様々な要因が背景になって生じる。  
(厚生労働省ホームページから)

## 中高年のひきこもり

ひきこもりが長期化するなどし、中高年の子の面倒を高齢の親が見続ける世帯が社会的に孤立するケース(いわゆる「8050問題」)が顕在化。

平成30年1月には、北海道で80代の母親と50代の娘がそろって低栄養状態による低体温症により衰弱死したケースが発生。

# 内閣府アンケート調査結果の概要①

## (1) 調査概要

内閣府「生活状況に関する調査報告書」から

項目	平成30年度調査	平成27年度調査
調査対象	40～64歳	15～39歳
調査方法	無作為抽出によるアンケート調査(標本数5,000)	
有効回答	65% (3,248人)	62.3% (3,115人)
ひきこもり状態にある人 (推計値:全国)	1.45% (61.3万人)	1.57% (54.1万人)

### 内閣府アンケート調査におけるひきこもり群の定義

6か月以上にわたって、次のいずれかの状態にある人

・趣味の用事の時だけ外出する

(準ひきこもり)

・近所のコンビニなどには出かける

・自室からは出るが、家からは出ない

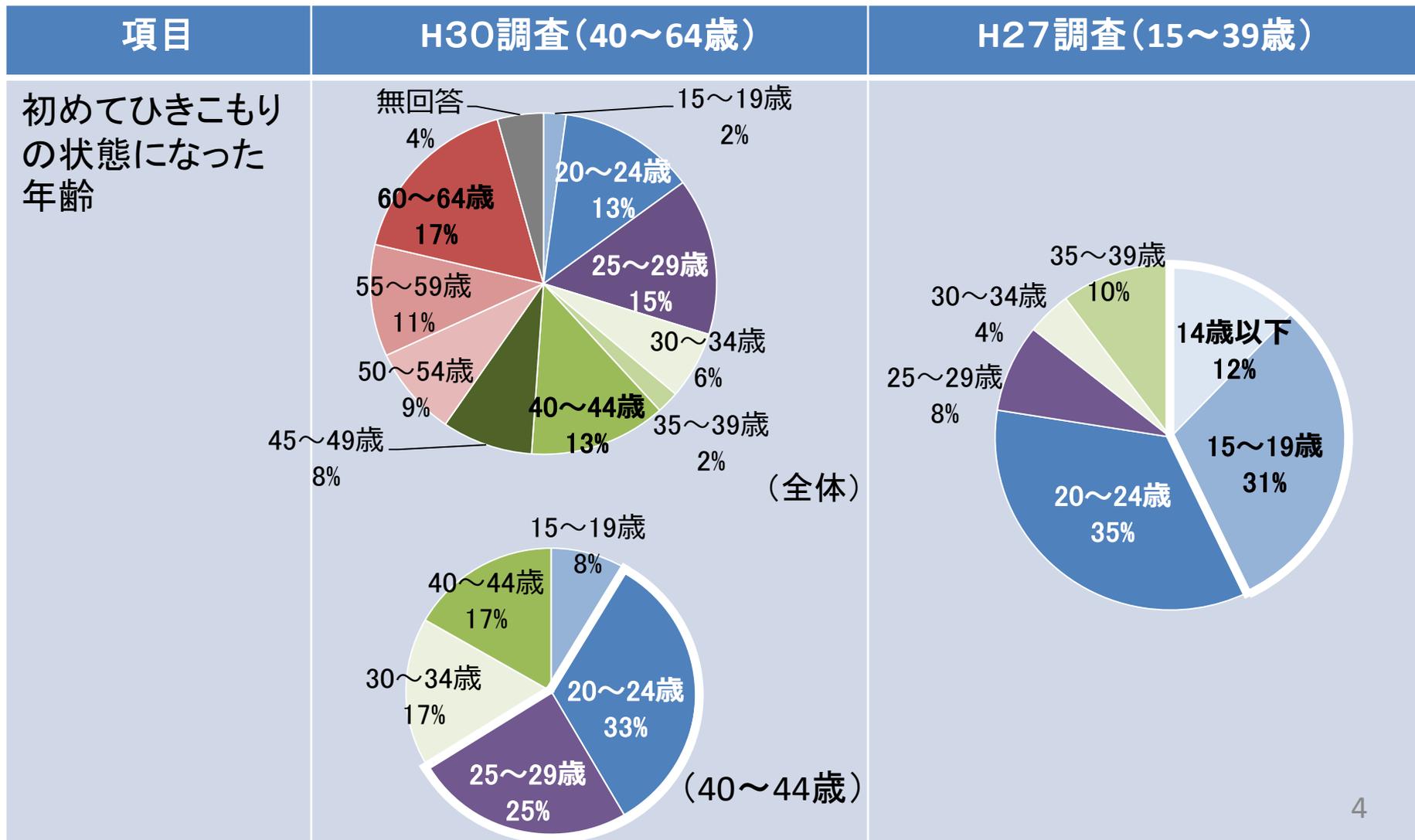
・自室からほとんど出ない

(狭義のひきこもり)

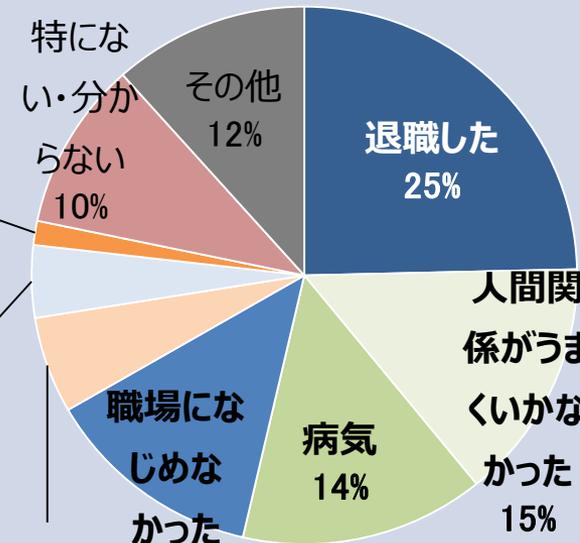
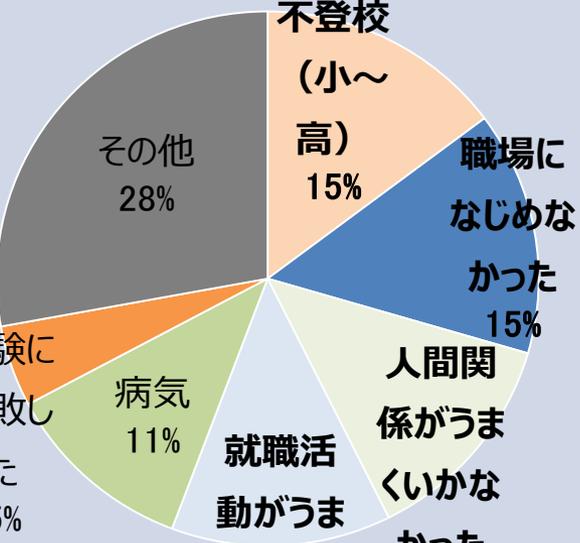
(広義のひきこもり)

# 内閣府アンケート調査結果の概要②

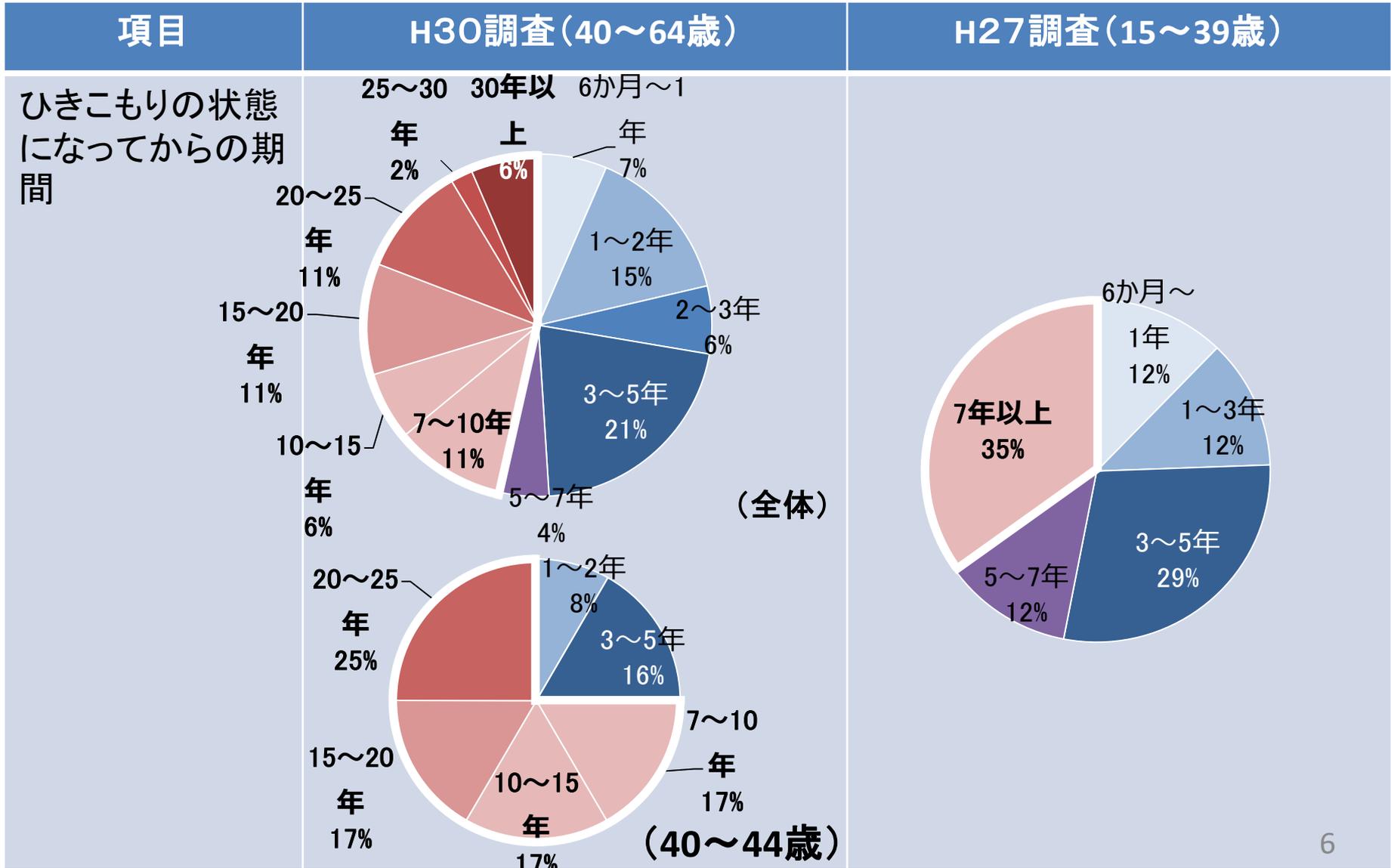
## (2) 調査結果



# 内閣府アンケート調査結果の概要③

項目	H30調査(40～64歳)	H27調査(15～39歳)
ひきこもりの状態になったきっかけ (複数回答可)	 <p>Retired (退職した) 25%</p> <p>Human relationships were not good (人間関係がうまくいかなかった) 15%</p> <p>Sickness (病気) 14%</p> <p>Did not attend school (小～高) (不登校) 6%</p> <p>Did not start work (職場になじめなかった) 4%</p> <p>Failed job hunting (就職活動がうまくいかなかった) 4%</p> <p>Failed exam (受験に失敗した) 1%</p> <p>Other (その他) 12%</p> <p>Don't know (特にない・分からない) 10%</p>	 <p>Did not attend school (小～高) (不登校) 15%</p> <p>Human relationships were not good (人間関係がうまくいかなかった) 13%</p> <p>Failed exam (受験に失敗した) 5%</p> <p>Failed job hunting (就職活動がうまくいかなかった) 13%</p> <p>Sickness (病気) 11%</p> <p>Did not start work (職場になじめなかった) 15%</p> <p>Other (その他) 28%</p>

# 内閣府アンケート調査結果の概要④



# 生活支援センター(生活困窮者自立支援制度)での対応

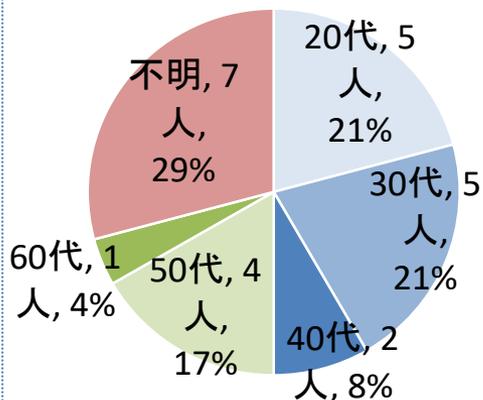
## (1) 本市のひきこもり相談への対応

- ・それぞれの関係部署が個別支援を実施。
- ・ひきこもりの専門相談窓口としては、県が「広島ひきこもり相談支援センター」を設置。
- ・生活困窮者の相談窓口「生活支援センター」では、主に就労に向けた段階的な支援や、困窮世帯への支援を実施。

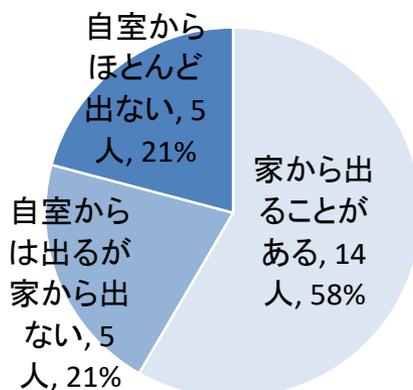
## (2) 生活支援センターでの相談対応状況

- ① 相談件数 H30年度 : 15件  
R元年度(4~6月) : 9件

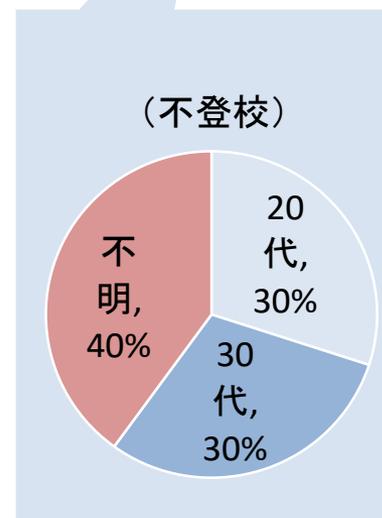
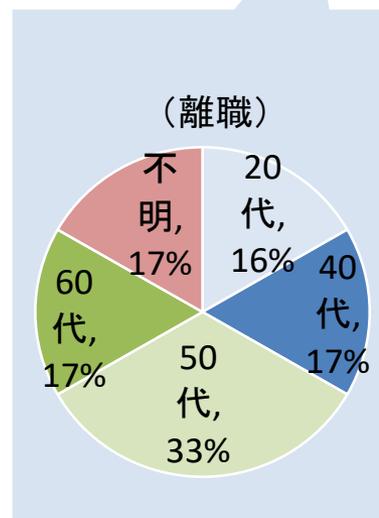
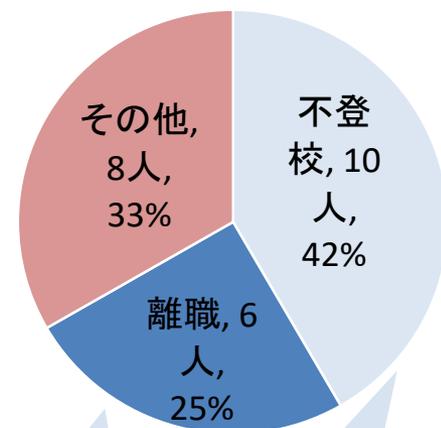
### ② ひきこもり状態にある人の年齢



### ③ 外出状況



## ④ ひきこもり状態になったきっかけ



# 支援状況

---

## (1) 不登校がきっかけでひきこもりになったケース

### 【概要】

- ・20代男性。
- ・義務教育課程から不登校になり、ひきこもり状態に。

### 【支援内容】

- ・昼夜逆転しがちな生活リズムを整え、外出機会と人と接する機会を確保する。
- ・職場見学や内職作業などを通じて仕事を知り、適職を探す。

### 【支援結果】

- ・フルタイムで就労中。

## (2) 離職がきっかけでひきこもりになったケース

### 【概要】

- ・40代女性。
- ・学校を卒業後、就職するも離職。その後は職を転々とする。
- ・最後に離職した後、ひきこもり状態に。

### 【支援内容】

- ・内職作業や農業体験等を行いながら、本人の希望に合った仕事探しを支援。

### 【支援結果】

- ・仕事への焦りがやわらぎ、自分に合った仕事を落ち着いて探している。

# ひきこもり支援における課題

---

## ○支援につながりにくい

- ・家族と本人がSOSを発しないケースが多く、支援につながりにくい（把握の難しさ）。
  - ・本人が支援を拒否するケースが多い。
- ⇒ひきこもりの長期化・高齢化

## ○支援が長期間に及ぶ

- ・支援が開始できたとしても、支援が長期間に及ぶケースが多い。